

第 12 回 鈴鹿病態薬学研究会

日時：平成 30 年 1 月 11 日（木） 16 時より

会場：鈴鹿医療科学大学薬学部（白子キャンパス）6 号館 6103 室

◆ 演題

「血管を標的とした免疫療法」～がん、関節リウマチ、肥満～

◆ 講師

宇都口 直樹 先生（昭和薬科大学薬剤学研究室 教授）

◆ 講演概要

固形腫瘍が増大する際には、がん細胞の増殖に必要な栄養や酸素の供給路となる血管の新生が不可欠であるため、がん細胞そのものではなく、腫瘍組織部位の血管を標的とした治療法が模索されている。本講演では、現在取り組んでいる腫瘍組織の血管内皮細胞を抗原提示細胞である樹状細胞に取り込ませ、この樹状細胞を生体内に戻すことにより、腫瘍血管に対する細胞傷害性 T 細胞を活性化させる免疫療法の開発、そして、近年明らかにされた腫瘍細胞によって構築される擬似血管（Vascular Mimicry）を標的とするがん治療法の開発についてご紹介する。

さらに、血管の新生が病態の増悪化に繋がる疾患として、関節リウマチ、肥満が考えられており、関節リウマチにおいては関節滑膜の血管新生、肥満においては脂肪組織の血管新生の抑制を期待する免疫療法の開発についても言及したい。

主催：鈴鹿病態薬学研究会（代表 鈴木 宏治）

共催：株式会社 メディカルー光

事務局（問い合わせ先）：鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品開発学研究室 中山 浩伸

TEL 059-340-0606 e-mail nakayamh@suzuka-u.ac.jp

第12回 鈴鹿病態薬学研究会

「血管を標的とした免疫療法」

～がん、関節リウマチ、肥満～

講師： 宇都口 直樹 先生

昭和薬科大学・薬剤学研究室 教授

日時：平成30年1月11日(木) 16時より

会場：鈴鹿医療科学大学薬学部(白子キャンパス) 6号館 6103号室

本講演会では、がん、関節リウマチ、肥満において病態の増悪に繋がっている血管新生のメカニズムとそれを標的とした免疫療法について、宇都口先生にわかりやすく解説していただきます。奮ってご参加ください。

主催： 鈴鹿病態薬学研究会(代表：鈴木 宏治)

共催： 株式会社メディカルー光

事務局(問い合わせ先)： 鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品開発学研究室 中山 浩伸

TEL 059-340-0606 e-mail nakayamh@suzuka-u.ac.jp